

(5) 特別支援教育研究会（特別支援学級）

会長 兼松 成（西土佐中）

副会長 下山 歩（西土佐中）

事務局 田村 仁八（具同小）

1. 研究主題 「特別な支援を必要とする子どもたちがいきいきと学べる授業づくり」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和3年 5月6日（木）	四万十市教育研究会組織総会 ・役員選出、研究主題の設定、年間計画	中村南小学校	
6月3日（木）	第1回 サークル連絡協議会（中止）	安並運動公園	
7月26日（月）	四万十市教育研究会 夏季研修会 第1回学習会 講話 「特別な支援を必要とする子どもたちが いきいきと学べる授業づくり」について 講師 高知大学 教育研究部 是永 かな子先生	四万十市立 具同小学校	18名参加

3. 夏季研修会

高知大学より是永かな子先生を迎え、昨年に引き続き研究主題を「特別な支援を必要とする子どもたちがいきいきと学べる授業づくり」と設定し、話をしていただいた。

是永先生には、参加者が教員らの日頃の実践の中で感じていることや困っていることなどから、特別支援を必要とする子どもたちへの具体的な支援の仕方・配慮について講義いただいた。講話では、子ども同士、学び、思いを「つなげる」ことに焦点を当て、障害そのものの理解から具体的実践例を学ぶことができた。パワーポイント資料以外にも、参加者が日々の実践で活用できるように、と参考にすることができる文献などもご紹介くださった。

後半には、参加者が普段の取り組みなどを共有し、互いの実践から学んだ。児童生徒の生活に関すること、進路指導、受験についてなど、発達段階や学習段階に応じた支援方法についても情報を共有した。是永先生からはそれぞれの疑問に回答する形で具体的なアドバイスをいただいた。

準備をしていただいたことのみならず、質疑応答でも、気になる児童生徒の行動の理由やその支援方法までを具体的にご助言いただけたことで、参加者はお互いに学び合うことができた。

4. 成果と課題

(成果)

- 2学期からの支援のための具体的な方法を教えてくださり、参考になった。大人と子どもが「つながる」だけでなく、子ども同士を「つなげる」ことの大切さを学ぶことができた。
- 後半の質疑応答では、様々な児童生徒の実態とその対応について具体的に話していただき、勉強になった。
- 現状の課題だけではなく、将来のことも含めた支援について考えるきっかけになった。

(課題)

- 講演を1時間、質疑応答の時間を30分設けたが、もう少し長く時間を設定できればより充実した会になるのではないか。
- 参加者（教員）同士での話し合いの時間、情報交換ができればよかった。

～研修の様子～

